

新



明治三十五年三月

浦潮港於此越後未開元事項
取調方新泻縣ヲ依頼之件

外務省

10

15日

3-1302

0237

本件ニ
關スル照
復ハ必ズ
本書ノ番
号ヲ記載
アリタシ

明治卅五年十二月八日受

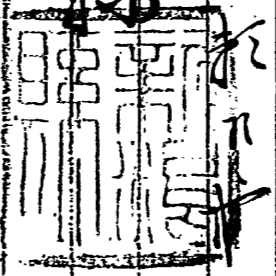
新潟縣 第三七 一 番

一六〇五〇

浦塩斯往ニ於ケル越後来ニ付テハ元記ノ事
項彙志社ニ於テハ条子由子教以在請
ノニ同扱切ニ此島及以依

明治三十五年十二月六日

新潟縣



外務省通商局

出下

一 越後来ノ集教高

一 越後来ノ声浪

一 越後来ノ用途

新潟縣

一 越後来ノ長所及短所

一 越後来ノ輸入消長ニ付テハ貴局ノ意見

一 越後来ニ付テハ貴局ノ意見

一 越後来ノ改良ニ付テハ意見

文書録



明治卅五年十二月十日接受

26

明治卅五年十一月廿五日發達

通事局長

録

付

大臣

明治卅五年十一月廿五日

洋第一

部

第一

部

第一

部

第一

部

第一

部

第一

部

第一

部

第一

部

越南の對しては直島を以て爲す

外務省

其の概は越後米二國に在りて是に記す
度今般新地ありては是を以て西島
上市回按多ありてありて下

記

一 越後米 越後米

一 越後米 越後米

一 越後米 越後米

一 越後米 越後米

通商
第三
第七
附錄

明治六年二月廿三日 臺灣通商

公方三十一号

越後來之関之取調之件回答

受第二四七九號

当地、於ケル越後來之関之取調之件、
件、ハツキ客年十二月十五日附送カ一
号ノリ以テ法申越之越ハ別紙之通調
查之上及ハ田号方夫間新設知事
、市轉報方之是法取計方欲之其如
申進之更教具

明治三年六月二十七日

在浦潮斯德日本貿易事務所

外務書記官 能木陽之助



外務省官男爵少将兼外務大臣

三十八番 在浦潮津 本館 外務省

浦港 越後米 調査 報告

一 集散高 明治三十四年並三十五年中

・控ケル當港輸入額ハ尤ノ如シ

明治三十四年 三八二二石度(四三七石)

三十五年 一一二〇石度(一一八石)

一 用途 在留本邦人ノ食料ニ供スル外

清韓人モ亦之ヲ需用シ露スハ「カーシヤ」

差クハ「ロログ」ト稱スル食物ヲ製シ又「ス

」ト「混和物ト為ス

一 長所及短所 越後米本邦ニ於テハ品質

在浦港日本貿易事務館

價格共ニ冠ニ九州米ノ下位ニ在ルモ拘ハラ

ズ精製ノ方法耳敷ヲ得テ比較的包

白ク糠ノ混和セル分量少キ為メ外見

麗ニシテ洗滌ノ手数少キ在留本

邦人ヲ除キ外人ハ多ク之レヲ喜ブノ傾アリ

短所トシテハ九州米ニ比シテ風味ノ劣ルニ

アリ

一 聲價 前項記述セガ如ク越後米ハ色

ノ白キト糠ノ少キトハ大ニ外人ノ嗜好ニ適シ九

州米ニ比シテ却テ好評ヲ博シ販路廣

カハシト想像セラル現ニ九州米ト越後米

ト本邦ニ於テ其價格差石ニ付毎三二円

内外ノ差アリ加之長崎ヨリ當港迄ノ米

了 通商

4
通商

↑ 運賃ハ一担(和百斤)ニ付三十哥ニシテ新瀉
ヨリハ二十五哥ナリモ拘ハラス當港ニ於ケル越
後米ノ相場ハ一布度付二箇五十哥可乃
至二箇六十哥ニシテ九州米トノ間僅ニ十哥
内外ノ差アルニ過キズエヲ以テ見ルモ當港
ニ於ケル越後米ノ價值ヲ知ルニ足ルハカ
一儀裝對意見一紙ヲ本邦輸出品ノ荷造到
ル取粗悪ノ評ヲ免レサルモ持ニ米穀ノ類ニ於
テ古来龍衣用モ孤儀ヲ用ユルニ至ラハ荷
造ニ對スル注意ヲ欠クノ酷タシキモノニシテ船舶
積取リ又ハ船卸ニスル際差シクハ水揚
ケ等ノ場合ニ於テ内容ノ漏出スルコト少
カラス况ヤ當港向ノ白米ハ内地ハ輸送
スルコト多キカ故ニ層荷造ニ對シテハ周密
ナル注意ヲ要スルニ於テオヤヤ米ノ包裝トシテ
尤モ適當ナルモノハ麻布製ノ袋ナリト異之ヲ
用ヒ難キ事情アラバ又ナクハ入トナサル
ベカラズ

↑ 輸入酒長ノ意見 聲價ノ項ニ於テ述ハタルカ如
ク當地ニ於ケル越後米ハ概シテ好評ヲ博
シ一舛顧客ノ氣度良ク原價運賃ノ
低廉ナルニ比シテ價格ハ割高ニシテ前途
有望ナル貿易品ナルモ拘袋後米當港
ハ輸入セシモハ多ク小資本ノ米穀商僅
ク百石内外ノ取引ヲナセシ止マリ巨商
ノ手ヲ出シタルコトナク為メニ前掲ノ如キ統

在浦潮港日本貿易事務館

八
通商

計ヲ示スニ至リタルモナリ米ハ本邦ト香港
間ニ於ケル重要貿易品中第一位ニ位
スル商品ナルカ故ニ若シ大資本家ニシテ執
心斯業ニ盡カスル所アラハ或ハ他日當
港市場ニ於テ九州米ヲ壓倒スルニ至ル
時アリカ

又越後米ノ當港ニ於ケル輸入ニ関シテハ其
仕出地タル新潟港ノ限ニ至ラズ大ノ關係ヲ
有ス即チ當港ト越後方面トノ交通ヲ
保ツモノハ一大家汽船凱旋丸及交通
丸ノ二隻ノ外ナキモ拘ハラス同港ハ波浪
高クシテ荷役ニ不便ナルヲ以テ同船等廉
價貨物ヲ積殘シテ出帆スルコトアリト云フ

在港通商事務館

五
元

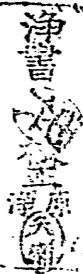
此ノ如キ情勢ナルヲ以テ新潟ト當港トノ
貿易ハ此ノ障礙ヲ除去スルニアラサバ將
来ノ飛達ノ期シ難カバシ
一將來改良ノ意見ヲ越後米ノ聲價依裝並
ニ輸入消長ニ関スル意見等ハ総テ本項
ニ關係ヲ有シ前段既ニ盡シタル信スルヲ
以テ茲ニ重テ陳述ス

文書録



明治六年二月廿八日接覽

18



明治六年二月廿五日 起草
同日發遣

主任

通商局長 杉村

信

杉村局長

新濱縣知事 阿部清成

越後米之團長 浦邊四郎

二十六年三月四日

外務省

霞領浦潮港之船 越後米之團長

三月廿六日付新濱縣知事 阿部清成

右申事之趣了奉 別紙之通り 杉村局長

通商貿易事務 館事務代理了 浦邊四郎

此等事務之趣了知了奉 此 殿 杉村局長

(別紙公事三十一号 信 杉村局長 浦邊四郎)

